

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

相馬共火2024第11号(発)
令和6年6月24日

福島県知事
内堀 雅雄 殿



提出者

住 所 福島県相馬市中村字塚ノ町65番地16
氏 名 相馬共同火力発電株式会社
取締役社長 岩淵 伸一
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0244-36-1200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	相馬共同火力発電株式会社 新地発電所
事業場の所在地	福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字今神1-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	3311発電所
② 事業の規模	10,944,225.5MWh (令和5年度実績)
③ 従業員数	121名 (令和6年3月末現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別紙2のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり
	排 出 量	別紙3のとおり
	(これまでに実施した取組) 別紙3のとおり	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり
	排 出 量	別紙3のとおり
	(今後実施する予定の取組) 別紙3のとおり	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙3のとおり	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙3のとおり	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ ）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

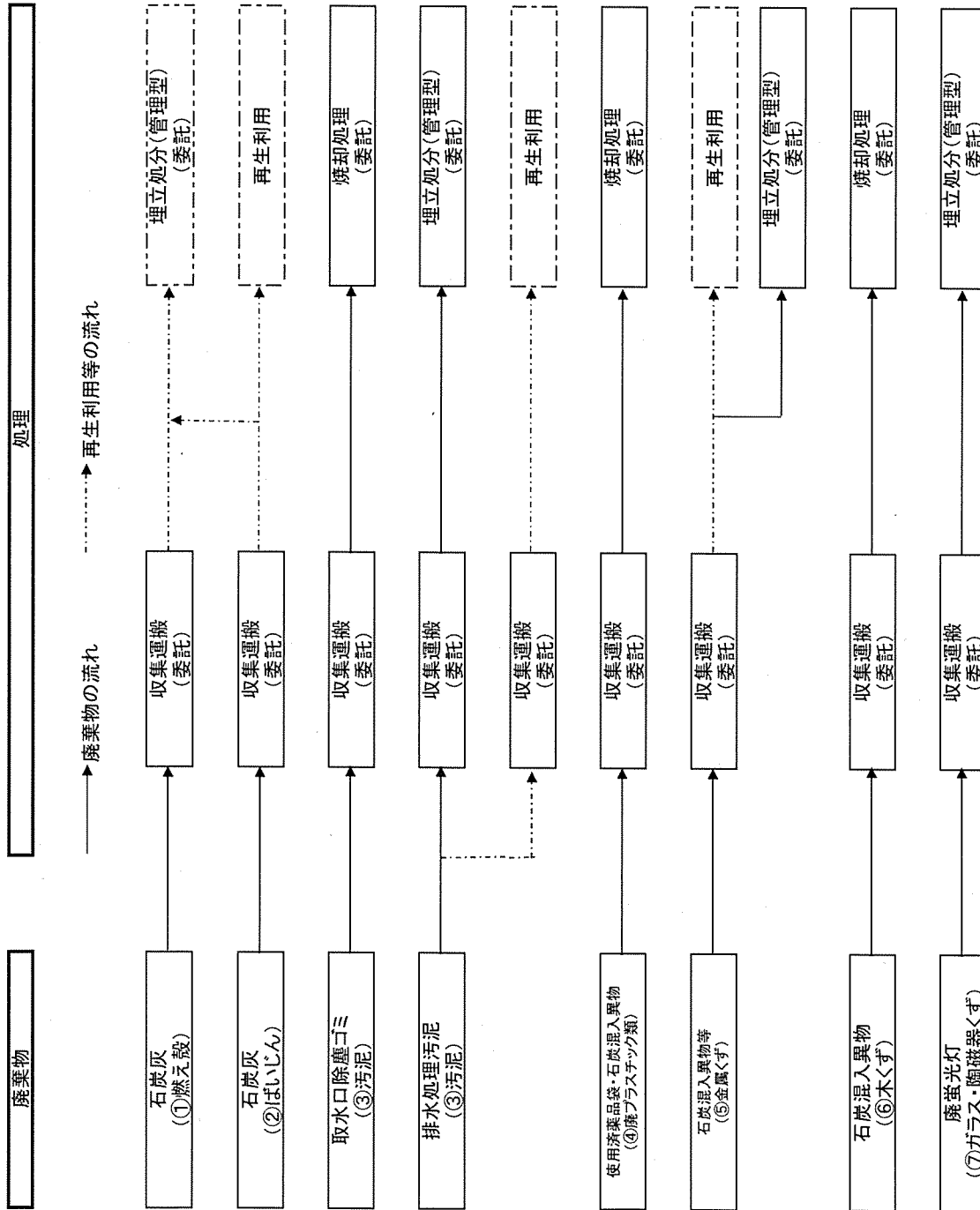
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	
	全処理委託量	別紙4のとおり	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙4のとおり	
	再生利用業者への処理委託量	別紙4のとおり	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙4のとおり	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙4のとおり	
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		

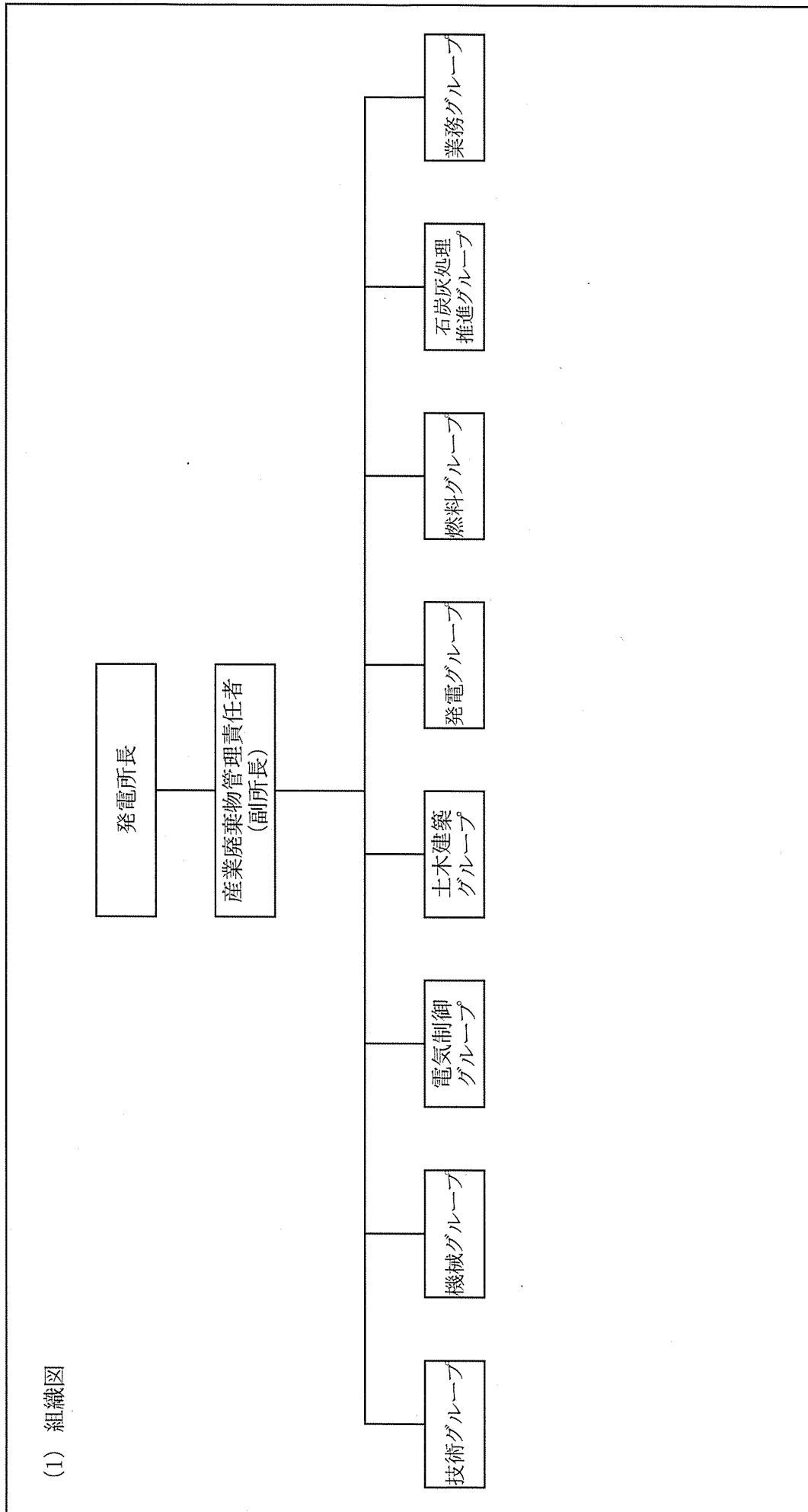
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	
	全処理委託量	別紙4のとおり	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙4のとおり	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙4のとおり	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙4のとおり	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙4のとおり	
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



管理体制図



(2) 職務分担

役割	職務内容
発電所長	発電所全体の業務を総括
副所長	産業廃棄物管理責任者
技術グループ	官庁報告等 発生量等の把握 廃棄物処理、再生利用関連の委託契約 産業廃棄物関連施設の委託運転・管理 マニフェストの交付、マニフェスト等の保存等
機械グループ	産業廃棄物関連施設の補修
電気制御グループ	産業廃棄物関連施設の補修
土木建築グループ	産業廃棄物関連施設の補修
発電グループ	発生量等の把握 廃棄物処理、再生利用関連の委託契約 産業廃棄物関連施設の委託運転・管理 マニフェストの交付、マニフェスト等の保存等
燃料グループ	発生量等の把握 廃棄物処理、再生利用関連の委託契約 産業廃棄物関連施設の委託運転・管理 マニフェストの交付、マニフェスト等の保存等
石炭灰処理推進 グループ	発生量等の把握 廃棄物処理、再生利用関連の委託契約 産業廃棄物関連施設の委託運転・管理 マニフェストの交付、マニフェスト等の保存等
業務グループ	発生量等の把握 廃棄物処理、再生利用関連の委託契約 産業廃棄物関連施設の委託運転・管理 マニフェストの交付、マニフェスト等の保存等

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	—
	排 出 量	28,753.630 t	—
	(これまでに実施した取組) ・ 燃焼等の管理を行うことにより、熱効率の維持に努めた。 ・ 良質の燃料の確保・使用した。 ・ 有価物として販売した。 ・ セメント原料等としての再生利用の検討と確保した。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	—
	排 出 量	32,548.800 t	—
	(今後実施する予定の取組) ・ 燃焼等の管理を行うことにより、熱効率の維持に努める。 ・ 良質の燃料の確保・使用する。 ・ 有価物として販売する。 ・ セメント原料等としての再生利用の検討と確保する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	—
	排 出 量	377,943.380 t	—
	（これまでに実施した取組） ・燃焼等の管理を行うことにより、熱効率の維持に努めた。 ・良質の燃料の確保・使用した。 ・セメント原料等としての再生利用の検討と確保した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	—
	排 出 量	451,227.960 t	—
	（今後実施する予定の取組） ・燃焼等の管理を行うことにより、熱効率の維持に努める。 ・良質の燃料の確保・使用する。 ・セメント原料等としての再生利用の検討と確保する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	排 出 量	8,605.070 t	—
	（これまでに実施した取組） ・排水処理の汚泥は、石炭性状の変化による水質変動で発生量変動するため、抑制は困難である。 ・焼却処理にあたりサーマルリサイクルを実施した。 ・セメント原料等としての再生利用の検討と確保した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	排 出 量	7,105.760 t	—
	（今後実施する予定の取組） ・排水処理の汚泥は、石炭性状の変化による水質変動で発生量変動するため、抑制は困難である。 ・焼却処理にあたりサーマルリサイクルを実施する。 ・セメント原料等としての再生利用の検討と確保する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	—
	排 出 量	7. 8 4 0 t	—
	（これまでに実施した取組） ・ 廃プラスチック類となる石炭の混入物は、極力積出までに除去するよう炭鉱等に依頼した。 ・ サーマルリサイクル等として有効利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	—
	排 出 量	5. 2 0 0 t	—
	（今後実施する予定の取組） ・ 廃プラスチック類となる石炭の混入物は、極力積出までに除去するよう炭鉱等に依頼する。 ・ サーマルリサイクル等として有効利用する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	—
	排 出 量	1. 9 5 0 t	—
	（これまでに実施した取組） ・異物混入が多い石炭については、極力積出までに除去するよう炭鉋等に依頼した。 ・マテリアルリサイクル等として有効利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	—
	排 出 量	2. 0 0 0 t	—
	（今後実施する予定の取組） ・異物混入が多い石炭については、極力積出までに除去するよう炭鉋等に依頼する。 ・マテリアルリサイクル等として有効利用する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	—
	排 出 量	0. 1 6 0 t	—
	（これまでに実施した取組） ・異物混入が多い石炭については、極力積出までに除去するよう炭鉋等に依頼した。 ・サーマルリサイクル等として有効利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	—
	排 出 量	0. 9 0 0 t	—
	（今後実施する予定の取組） ・異物混入が多い石炭については、極力積出までに除去するよう炭鉋等に依頼する。 ・サーマルリサイクル等として有効利用する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器屑	—
	排 出 量	0.290 t	—
	(これまでに実施した取組) ・特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器屑	—
	排 出 量	0.500 t	—
	(今後実施する予定の取組) ・特になし。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	—
	全処理委託量	28,753.630 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	119.240 t	—
	再生利用業者への処理委託量	2,034.810 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	—
	（これまでに実施した取組） ・燃焼等の管理を行うことにより、熱効率の維持に努めた。 ・良質の燃料の確保・使用した。 ・有価物として販売した。 ・セメント原料等としての再生利用の検討と確保した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	—
	全処理委託量	32,548.800 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	—
	再生利用業者への処理委託量	1,500.000 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	—
	（今後実施する予定の取組） ・燃焼等の管理を行うことにより、熱効率の維持に努める。 ・良質の燃料の確保・使用する。 ・有価物として販売する。 ・セメント原料等としての再生利用の検討と確保する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	—
	全処理委託量	377,943.380 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	11,536.110 t	—
	再生利用業者への処理委託量	248,136.480 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	—
	（これまでに実施した取組） ・ 燃焼等の管理を行うことにより、熱効率の維持に努めた。 ・ 良質の燃料の確保・使用した。 ・ セメント原料等としての再生利用の検討と確保した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	—
	全処理委託量	451,227.960 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	22,750.000 t	—
	再生利用業者への処理委託量	367,260.000 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	—
	（今後実施する予定の取組） ・ 燃焼等の管理を行うことにより、熱効率の維持に努める。 ・ 良質の燃料の確保・使用する。 ・ セメント原料等としての再生利用の検討と確保する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	全処理委託量	8,605.070 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	246.630 t	—
	再生利用業者への処理委託量	306.520 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.430 t	—
	（これまでに実施した取組） ・排水処理の汚泥は、石炭性状の変化による水質変動で発生量が変動するため、抑制は困難である。 ・焼却処理にあたりサーマルリサイクルを実施した。 ・セメント原料等としての再生利用の検討と確保した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	全処理委託量	7,105.760 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	352.000 t	—
	再生利用業者への処理委託量	481.760 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	24.000 t	—
	（今後実施する予定の取組） ・排水処理の汚泥は、石炭性状の変化による水質変動で発生量が変動するため、抑制は困難である。 ・焼却処理にあたりサーマルリサイクルを実施する。 ・セメント原料等としての再生利用の検討と確保する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	—
	全処理委託量	7.840 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	0.020 t	—
	再生利用業者への処理委託量	0.020 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	7.820 t	—
	（これまでに実施した取組） ・廃プラスチック類となる石炭の混入物は、極力積出までに除去するよう炭鉱等に依頼した。 ・サーマルリサイクル等として有効利用した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	—
	全処理委託量	5.200 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	—
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	5.200 t	—
	（今後実施する予定の取組） ・廃プラスチック類となる石炭の混入物は、極力積出までに除去するよう炭鉱等に依頼する。 ・サーマルリサイクル等として有効利用する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	—
	全処理委託量	1.950 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	1.950 t	—
	再生利用業者への処理委託量	1.950 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	—
	（これまでに実施した取組） ・異物混入が多い石炭については、極力積出までに除去するよう炭鉋等に依頼した。 ・マテリアルリサイクル等として有効利用した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	—
	全処理委託量	2.000 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	2.000 t	—
	再生利用業者への処理委託量	2.000 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	—
	（今後実施する予定の取組） ・異物混入が多い石炭については、極力積出までに除去するよう炭鉋等に依頼する。 ・マテリアルリサイクル等として有効利用する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	—
	全処理委託量	0.160 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	—
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.160 t	—
	（これまでに実施した取組） ・異物混入が多い石炭については、極力積出までに除去するよう炭鉤等に依頼した。 ・サーマルリサイクル等として有効利用した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	—
	全処理委託量	0.900 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	—
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.900 t	—
	（今後実施する予定の取組） ・異物混入が多い石炭については、極力積出までに除去するよう炭鉤等に依頼する。 ・サーマルリサイクル等として有効利用する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器屑	—
	全処理委託量	0.290 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	0.290 t	—
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	—
	(これまでに実施した取組) ・特になし。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器屑	—
	全処理委託量	0.500 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	0.500 t	—
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	—
	(今後実施する予定の取組) ・特になし。		
※事務処理欄			